



HP リテール インテグレートッド バーコード スキャナー

ユーザー ガイド

© 2013, 2018 HP Development Company, L.P.

Microsoft および Windows は米国またはその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対しては、責任を負いかねますのでご了承ください。


改訂第 1 版 : 2018 年 6 月


初版 : 2013 年 6 月


製品番号 : 736672-292

このガイドについて

このガイドでは、HP リテール インテグレートド バーコード スキャナーのセットアップおよび使用方法について説明します。

 **警告！** その指示に従わないと、人体への傷害や生命の危険を引き起こすおそれがあるという警告事項を表します。

 **注意：** その指示に従わないと、装置の損傷やデータの損失を引き起こすおそれがあるという注意事項を表します。

 **注記：** 重要な補足情報です。

目次

1 クイックセットアップ	1
OPOS ドライバー	1
キャリッジリターン	2
タブ	3
音量	4
2 製品の特長	6
HP リテール インテグレートド バーコード スキャナー	6
3 安全および保守に関するガイドライン	7
人間工学上の推奨事項	7
4 スキャナーのセットアップおよび使用	8
スキャナーの使用	8
インターフェイスの設定	9
USB-COM	9
キーボードインターフェイス	9
スキャンコード表	9
国モード	10
5 スキャナーのプログラミング	11
プログラミング バーコードの使用	11
その他の設定	11
標準の製品初期設定へのリセット	11
パラメーターの読み取り	12
照準システム	12
読み取り完了を示す緑色スポット光の持続時間	12
動作モード	13
付録 A トラブルシューティング	14
一般的なトラブルの解決方法	14
オンライン技術サポート	14
お問い合わせになる前に	15

付録 B 技術仕様	16
LED とビープ音によるインジケータ	19
エラー コード	20
付録 C 製品のラベル表示	21
照準システム	21

1 クイックセットアップ

この章のバーコードを使用すると、共通の作業用のセットアップ手順をすばやく実行できます。下のバーコードをスキャンすると、スキャナーの設定が工場出荷時の初期設定に戻ります。

図 1-1 標準の製品初期設定



注記：工場出荷時の初期値に設定するバーコードをスキャンしても、インターフェイスの種類は変更されません。

HP リテール インテグレートド バーコード スキャナーを初期設定のモードに戻すには、下のバーコード（USB HID キーボード エミュレーション）をスキャンします。

図 1-2 USB HID キーボード エミュレーション



スキャナーを HID モードと USB-COM モードの間で切り替えた場合は、Windows® オペレーティングシステムがスキャナーのネイティブドライバーを再ロードするまで少しお待ちください。

OPOS ドライバー

HP リテール インテグレートド バーコード スキャナーは、工場出荷時の初期設定ではヒューマンインターフェイス デバイス (HID) キーボード エミュレーション モードになっています。このバーコード スキャナーを OPOS (OLE for Retail POS) ドライバーで使用するには、スキャナーを USB COM (OPOS) モードにする必要があります。

HP リテール インテグレートド バーコード スキャナーを USB COM (OPOS) モードまたは HID キーボード エミュレーション モードに切り替えるバーコードは、すぐに使用できるようにこのガイドに記載しています。バーコードの一覧は、『HP Retail Integrated Barcode Scanner Programming Reference Guide』（HP リテール インテグレートド バーコード スキャナー プログラミング リファレンス ガイド）を参照してください。このガイドは、スキャナーに付属の『HP Point of Sale System Software and Documentation』（HP Point of Sale System ソフトウェアおよびドキュメンテーション）ディスクに収録されています。また、HP のサポート Web サイトから softpaq として入手することも可能です。

HP リテール インテグレートド バーコード スキャナーを OPOS ドライバーで使用するモードにするには、下のバーコード（USB COM OPOS）をスキャンします。

図 1-3 USB COM (OPOS)




キャリッジリターン

下のバーコードをスキャンすると、スキャナーの設定が工場出荷時の初期設定に戻ります。

図 1-4 標準の製品初期設定



 **注記：**工場出荷時の初期値に設定するバーコードをスキャンしても、インターフェイスの種類は変更されません。

スキャンされた各バーコードの後にキャリッジリターンが必要な場合は、以下の順序でバーコードをスキャンします。

図 1-5 プログラミングモードの開始



図 1-6 グローバルサフィックスの設定



図 1-7 0



図 1-8 D



図 1-9 グローバルサフィックスモードの終了



図 1-10 プログラミングモードの終了




タブ

下のバーコードをスキャンすると、スキャナーの設定が工場出荷時の初期設定に戻ります。

図 1-11 標準の製品初期設定



 **注記：**工場出荷時の初期値に設定するバーコードをスキャンしても、インターフェイスの種類は変更されません。

スキャンされた各バーコードの後にタブが必要な場合は、以下の順序でバーコードをスキャンします。

図 1-12 プログラミングモードの開始



図 1-13 グローバルサフィックスの設定



図 1-14 0



図 1-15 9



図 1-16 グローバル サフィックス モードの終了



図 1-17 プログラミング モードの終了



音量

下のバーコードをスキャンすると、スキャナーの設定が工場出荷時の初期設定に戻ります。

図 1-18 標準の製品初期設定



HP リテール インテグレートド バーコード スキャナーで、読み取り完了を示すビープ音の音量を設定するには、以下のバーコードをスキャンします。

図 1-19 プログラミング モードの開始



以下の 4 つのバーコードのどれかをスキャンして、音量を適切なレベルに設定します。

図 1-20 オフ



図 1-21 低



図 1-22 中



図 1-23 高



下のバーコードをスキャンすると、プログラミングモードが終了します。

図 1-24 プログラミングモードの終了



2 製品の特長

HP リテール インテグレートッドバーコードスキャナー

豊富な機能を備えた HP リテール インテグレートッドバーコードスキャナーは、汎用 POS アプリケーション向けの高品質なデータ収集デバイスです。HP スキャナーは、動作検出能力の向上および光学機能の強化により、高速で移動する対象物のバーコードをすばやく簡単に読み取ることができるようになりました。このため、小売店での利用のように高いパフォーマンスを要求されるタスクにも適したスキャナーです。このスキャナーには、以下の特長があります。

- **[全方位の読み取りに対応]**：読み取りコードを読み取ったりイメージをキャプチャしたりするには、スキャナーに向けるだけで、対象物の認識、読み取り、デコードが自動的に行われます。HP リテール インテグレートッドバーコードスキャナーでは、全方位のスキャンに対応できるため、読み取りコードの向きは問題になりません。
- **[直感的な照準システム]**：読み取り完了のためのガイドとして緑色のスポット光を使用することにより、騒音の多い環境でも静音状態が必要とされる状況でも生産性が向上します。スキャナーで多方向対応機能を使用しているときに、バーコードを素早く直感的に読み取ることができるよう、照射位置を確認するための照準システムとして照準パターンを利用できます。
- **1D および 2D 読み取りコードのデコード**：すべての標準 1D（線形）および 2D バーコードを高い信頼性で読み取ります。以下のバーコードに対応しています。
 - GS1 DataBar™線形コード
 - 郵便コード（中国の郵便コード）
 - スタック型コード（GS1 DataBar Expanded Stacked、GS1 DataBar Stacked、GS1 DataBar、Stacked Omnidirectional）

データストリーム（読み取りコードのデコードによって取得）はすばやくホストへと送信されます。スキャナーはすぐに、別の読み取りコードを読み取ることができる状態になります。

- **イメージング**：ラベル、署名、およびその他の対象物のイメージ全体または一部をキャプチャすることによって、カメラとしても利用できます。
- **携帯電話のスキャン**：このスキャナーは、強化された動作の検出能力およびコントラストレベルを最適化する技術を使用して設計されています。これらの機能により、携帯電話および PDA からバーコードをすばやく読み取ることができます。
- **[柔軟な位置決め]**：実際に設置するときに、スキャナーの位置決め機能は 2 軸で柔軟に位置を調整するため、それぞれのユーザーは各自の設定とスキャン操作に合った最適な位置に設定できます。

3 安全および保守に関するガイドライン

人間工学上の推奨事項

⚠ **警告！** 不適切な体勢で操作することによるけがの発生を防止または最小限にするため、以下の点に注意してください。職場等、作業環境を管理する安全衛生管理担当者に相談の上、適切な安全基準やプログラムに従って従業員のけがを未然に防止してください。

- 反復的な動作を減らすまたはなくす
- 自然な位置を維持する
- 無理な力を減らすまたはなくす
- 頻繁に使用されるものを、手が届きやすい定位置に置く
- 作業を適切な高さで行う
- 振動を減らすまたはなくす
- 直接的な圧力を減らすまたはなくす
- 調整可能な作業場所を用意する
- 十分な空間を確保する
- 適切な作業環境を提供する
- 作業手順を改善する

⚠ **注意：** スキャナー表面の汚れによる細菌性疾患の発生やまん延を防止するために市販されている抗菌剤の中には、プラスチックの組成に影響を及ぼし、プラスチックに圧力がかかると恒久的に変形させてしまうような化学物質が含まれているものもありますので、使用する前に各製品の使用上の注意を確認してください。

4 スキャナーのセットアップおよび使用

スキャナーを接続してホストとの通信を行うには、以下の操作を行います。

1. HP リテール インテグレートド バーコード スキャナーをホスト デバイスに接続します。
2. 必要に応じて、インターフェイスを設定します（[9 ページのインターフェイスの設定](#)を参照してください）。
3. [11 ページの「スキャナーのプログラミング」](#)の説明に沿ってスキャナーを設定します（省略可能。必要な設定によって異なります）。

スキャナーの使用

スキャナーは、バーコード（対象物）イメージをキャプチャし、コードをデコードすることによって機能します。バーコード スキャナーは、初期設定で、対象物の動作に応じて照準システムを有効にする Automatic Object Sense Read Mode（自動対象物認識読み取りモード）に設定されています。照準システムは、デコードするバーコードまたは対象物を配置する必要のある位置を示す印として、照射領域を表示します。

図 4-1 照準システム



図 4-2 照準システム パターンの相対的サイズおよび位置



赤色の照射がラベルを照らします。照準システムによって示される領域は、スキャナーとバーコードが近づくにつれて狭くなり、遠ざかるにつれて広がります。バーまたは要素が小さい読み取りコード（mil 単位）は、スキャナーを近づけて読み取ります。バーまたは要素が大きい読み取りコード（mil 単位）は、スキャナーを遠ざけて読み取ります。


照準システムが中央に表示され、バーコード全体が照準フィールドの範囲内にある場合は、正常に読み取ることができます。読み取りが正常に行われると、ビープ音および読み取り完了を示す緑色のスポット光によって表されます。

この機能およびその他のプログラム可能な設定について詳しくは、『HP Retail Integrated Barcode Scanner Programming Reference Guide』（HP リテール インテグレートド バーコード スキャナー プログラミングリファレンスガイド）を参照してください。

インターフェイスの設定

スキャナーは、ホストインターフェイスとして USB をサポートしています。スキャナーおよびホスト間の物理的な接続が完了したら、適切な設定バーコードをスキャンすることでシステムのインターフェイスの種類を選択し、目的のインターフェイスオプション（USB HID KBD が初期設定）を選択します。

USB インターフェイスに関連する追加の設定および機能のカスタマイズを行う場合は、『HP Retail Integrated Barcode Scanner PRG』（HP リテール インテグレートッドバーコードスキャナー プログラミング リファレンスガイド）の対応する章を参照してください。


 **注記：**他のプログラミング機能およびオプションとは異なり、USB の種類の選択では 1 つのプログラミングバーコードラベルのみをスキャンする必要があります。インターフェイス選択のバーコードをスキャンする前に、プログラミングモードの開始/終了バーコードをスキャンしないでください。

USB-COM

RS-232 標準インターフェイスをシミュレートするための USB-COM

 **図 4-3** USB-COM-STD の選択




 **注記：**お使いの製品に付属のディスクから、適切な USB-COM ドライバーをインストールしてください。

キーボードインターフェイス


USB キーボードインターフェイスのオプションを選択します。

USB 標準キーボード（ALT モード）

 **図 4-4** USB 標準キーボード（ALT モード）の選択



USB 標準キーボード

 **図 4-5** USB 標準キーボードの選択



スキャンコード表

キーボードインターフェイスに適用される制御文字エミュレーションについては、『HP Retail Integrated Barcode Scanner Programming Reference Guide』（HP リテール インテグレートッドバーコードスキャナー プログラミング リファレンスガイド）を参照してください。

国モード

この機能は、キーボード言語を指定します。以下の言語がサポートされています。

アメリカ英語	ノルウェー語	韓国語
英語（英国）	スペイン語	ロシア語
ベルギー語	スウェーデン語	ヘブライ語
デンマーク語	繁体字中国語	アラビア語
フランス語	タイ語	ギリシャ語
カナダフランス語	ポルトガル語（EU）	ハンガリー語
ドイツ語	ポルトガル語（ブラジル）	スロバキア語
イタリア語	日本語	

この機能の情報およびプログラミングバーコードについて詳しくは、『HP Retail Integrated Barcode Scanner Programming Reference Guide』（HP リテール インテグレートド バーコード スキャナー プログラミング リファレンス ガイド）を参照してください。

5 スキャナーのプログラミング

スキャナーには、標準的な初期設定による機能が工場出荷時に設定されています。「インターフェイスの設定」の項目からインターフェイスのバーコードをスキャンした後（必要な場合）、その他のオプションを選択し、『HP Retail Integrated Barcode Scanner Programming Reference Guide』（HP リテールインテグレートドバーコードスキャナー プログラミングリファレンスガイド）から入手可能なプログラミングバーコードを使用してスキャナーをカスタマイズします。お使いのインターフェイスに対応する機能のセクションを確認してください。また、プログラミングリファレンスガイドの「Data Editing」（データ編集）および「Symbologies」（読み取りコード）の章を参照してください。

プログラミングバーコードの使用

このガイドには、スキャナーの再設定を可能にするバーコードが記載されています。プログラミングバーコードラベルの一部には、この章の標準の製品初期設定用のラベルのように、1つのラベルをスキャンするのみで変更が完了するものがあります。

また、その他のバーコードには、スキャンする前にスキャナーをプログラミングモードにする必要が生じるものもあります。プログラミングモードを開始するには、プログラミングモードの開始/終了バーコードを1回スキャンします。目的のパラメーター設定をスキャンし、プログラミングモードの開始/終了バーコードをもう一度スキャンすると、変更が確定されます。これによってプログラミングモードが終了し、スキャナーは通常の動作に戻ります。

その他の設定

追加のプログラミングバーコードを製品リファレンスガイドから入手して、プログラミング機能をカスタマイズできます。お使いのインストールに、標準的な工場出荷時の初期設定とは異なるプログラミングが必要な場合は、製品リファレンスガイドを参照してください。

標準の製品初期設定へのリセット

標準の工場出荷時設定の一覧については、製品リファレンスガイドを参照してください。スキャナーにどのようなプログラミングオプションがあるかわからない場合や、一部のオプションの変更後に工場出荷時の設定に戻りたい場合は、次の標準の製品初期設定用バーコードをスキャンして、現在有効になっているインターフェイスの設定に工場出荷時の設定をコピーします。


 **注記：**工場出荷時の初期設定は、インターフェイスの種類に基づいて行われています。このラベルをスキャンする前に、スキャナーを正しいインターフェイスに設定します。

図 5-1 標準の製品初期設定



パラメーターの読み取り

スキャナーの初期設定は、Automatic Object Sense Reading（自動対象物認識読み取り）モードです。バーコードラベルをスキャナーの前に提示し、照準パターンおよび照射システムを中央に照射するだけで、イメージがキャプチャされ、デコードされます。詳しくは、[8 ページのスキャナーの使用](#)を参照してください。

照準システムは、読み取りが行われると少しの間オフになり、そのままコードが読み取られないと再びオンになります。移動中、および対象物の認識中は、照射自体は、読み取りコードがデコードされるまでオンのまま保たれます。

コード読み取りコードの読み取りを行うときは、読み取り結果が最適になるように対象物を保持する距離を調整します。

照準システム

照準システムの制御をカスタマイズするため、さまざまなオプションを使用できます。詳しい情報およびプログラミング用バーコードについては、『HP Retail Integrated Barcode Scanner Programming Reference Guide』（HP リテール インテグレートド バーコード スキャナー プログラミング リファレンスガイド）を参照してください。

読み取り完了を示す緑色スポット光の持続時間

読み取りの成功は、読み取り完了を示す緑色スポットによって表されます。

以下のバーコードを使用して、読み取りの成功後に読み取り完了を示すポインター光線が点灯する時間を指定します。

図 5-2 プログラミング モードの開始/終了



図 5-3 無効



図 5-4 短（300 ミリ秒）



図 5-5 中（500 ミリ秒）



図 5-6 長（800 ミリ秒）



動作モード

リーダーは、2つのスキャン（読み取り）モードで動作でき、さらに、読み取りフェーズが動作中ではないときに、複数の異なる動作状態（オフ=初期設定、減光、オン）で照射をプログラムできます。詳しい情報およびオプションについては、『HP Retail Integrated Barcode Scanner Programming Reference Guide』（HP リテール インテグレートド バーコード スキャナー プログラミング リファレンス ガイド）を参照してください。

[Automatic]（自動）：スキャンが常に有効になります。

[Automatic (Object Sense)]（自動（対象物認識））：対象物がリーダーの照射領域に入ると、自動的にスキャンが有効になります（初期設定）。

A トラブルシューティング

一般的なトラブルの解決方法

以下の表に、発生する可能性のあるトラブルおよび推奨する解決方法を示します。

トラブル	解決方法
スキャナーの電源が入らない	POS コンピューターの電源が入っていることを確認します スキャンモジュールが端末モニターのUSBポートに正しく接続されていることを確認します。スキャンモジュールがスタンドアロンモニターに接続している場合は、モニターのUSBケーブルがホストに正しく接続されていることを確認します スキャンモジュールを別のUSBポートに接続しなおします それでも機能しない場合は、別のまたは新しいスキャンモジュールと交換してください
スキャナー上部のランプが点滅する	リーダーには、スキャナーが現在無効になっていると表示されている可能性があります <ol style="list-style-type: none">1. ホストコマンドから有効にします2. 設定ユーティリティに接続して、インターフェイスを変更します
スキャナーでバーコードの読み取りが行われ ない（スキャナーからは対象への照準が照射 されているものの、バーコードの読み取り時 に緑色のスポット光が点灯せず、ピープ音 が1回も鳴らない）	別の製品のバーコードをスキャンしてみます スキャナー前面のウィンドウが汚れている場合は、その汚れを拭き取ります スキャナー前面のウィンドウを確認します。ウィンドウに重大な損傷がある場合は、スキャナーを交換します 読み取りコードの種類を決定して、読み取りコードが有効になっていることを確認します
スキャナーからは対象への照準が照射され、 バーコードの読み取りが行われると緑色の スポット光が点灯してピープ音が1回鳴るも の、データはホストに送信されない	インターフェイスオプションのUSB Com または USB キーボード設定をリセットします <ul style="list-style-type: none">• インターフェイスがUSB Com の場合は、COMポートエミュレーターを開いて、[デバイスマネージャー]で正しいCOMポート番号を確認します• インターフェイスがUSBキーボードの場合は、[メモ帳]、[Microsoft® Word]などの汎用テキストエディターまたは[コマンドプロンプト]を開きます

オンライン技術サポート

テクニカルサポート情報、ユーザー自身によるトラブル解決に役立つツール、オンラインサポート、コミュニティフォーラムやIT専門家、マルチベンダーによる広範囲の知識ベース、監視および診断用ツールについては、<https://support.hp.com/jp-ja/> にアクセスして参照してください。

お問い合わせになる前に

トラブルシューティングの項目やオンラインの技術サポートを参照しても問題が解決しない場合は、テクニカルサポートも利用できます。HPのサポート窓口にお問い合わせになるときに、以下のような情報を事前にご準備いただくと、解決がより迅速になる場合があります。

- HP POS コンピューターに接続されている場合、POS コンピューターのシリアル番号を準備してください
- 購入年月日および購入店名
- 製品のラベルにある交換部品番号
- 問題が発生したときの状況（できるだけ具体的にお願いします）
- 表示されたエラーメッセージ
- ハードウェア構成
- 使用しているハードウェアとソフトウェアの種類

B 技術仕様

以下の表に、物理およびパフォーマンス特性、ユーザー環境、および規制に関する情報を示します。

番号	説明
物理特性	
色	黒
寸法 (スキャンヘッド)	高さ 53.4 mm 長さ 78.0 mm 幅 63.5 mm
質量	約 172 グラム
位置調整	10,000 サイクル
電気特性	
電圧および電流	アイドル/スタンバイ時 (標準) : 5.0 V DC で 98 mA 動作時 ¹ (標準) : 5.0 V DC で 160 mA 動作時 ² (最大) : 5.0 V DC で 215 mA 動作時 ³ (ピーク) : 5.0 V DC で 335 mA 入力電圧 (USB Vbus) : 4.5 ~ 5.5 V DC
パフォーマンス特性	
光源 (照射)	赤色 LED (625 nm typ)
回転 (傾斜) 可能角度	基準位置から ± 180°
前後傾斜角範囲	± 40°
傾斜 (左右の傾き) 角度	± 40°
エレメントの最少幅	4 mil (1D 線形および HD) 5 mil (PDF-417) 7 mil (DataMatrix)
最小 PCS 値	最小 25%の反射率

¹ 積極的なスキャン中

² 正常なラベルの読み取り中 (最大 : 100 ms のキャプチャ)

³ 正常なラベルの読み取り中 (最大ピーク : 250 μs のキャプチャ)

被写界深度 (通常)¹

読み取りコード	SR : (標準)
Code 39	5 mil : 4.7 ~ 17.7 cm 10 mil : 1.7 ~ 33.2 cm

被写界深度（通常）¹

読み取りコード	SR：（標準）
	20 mil：1.1～49.2 cm
EAN	13 mil：2.5～41.9 cm 7.5 mil：2.8～27.3 cm
PDF-417	6.6 mil：3.3～15.4 cm 10 mil：2.2～23.9 cm 15 mil：2.5～35.6 cm
DataMatrix	10 mil：2.7～17.1 cm 15 mil：1.2～24.6 cm
QR Code	10 mil：3.5～16.0 cm 15 mil：0.5～24.6 cm

¹ EANに基づく13 milの被写界深度。その他すべての1DコードはCode 39の値です。すべてのラベルはグレードA、一般的な環境光下、20°C、ラベルの傾斜角度10°での値です。

読み取り可能コード

1Dバーコード

- UPC/EAN/JAN (A、E、13、8)
- UPC/EAN/JAN (P2/P5を含む)
- UPC/EAN/JAN (ISBN/BooklandおよびISSNを含む)
- UPC/EAN Coupons
- Code 39 (Full ASCIIを含む)
- EAN 128 (GS1-128)
- Code39 CIP (フランス医薬品)
- Code 32 (イタリアの医薬コード39)
- Code 128
- Code 128 ISBT
- LaPoste A/R 39
- Interleaved 2 of 5
- Standard 2 of 5
- Interleaved 2 of 5 CIP (HR)
- Industrial 2 of 5
- Datalogic 2 of 5 (中国の郵便コード/中国の2 of 5)
- IATA 2 of 5 航空貨物コード
- Code 11
- Codabar
- ABC Codabar
- Code 93
- MSI
- Plessey
- Follet 2 of 5
- GS1 DataBar Omnidirectional
- GS1 DataBar Limited
- GS1 DataBar Expanded
- GS1 DataBar Truncated
- GS1 DATABAR Expanded Coupon

2D/スタック型コード

スキャナーでは、複数のフレームを使用して以下の読み取りコードのデコード（複数フレームのデコード）が可能です

- Aztec
- QR Code (QR、Micro QR および Multiple QR Code)
- Royal Mail Code (RM45CC)
- Intelligent Mail Barcode (IMB)
- Datamatrix
- スウェーデンの郵便
- PDF
- Inverse Datamatrix
- ポルトガルの郵便
- Micro PDF417
- オーストラリアの郵便
- GS1 コンボジット

2D/スタック型コード

スキャナーでは、複数のフレームを使用して以下の読み取りコードのデコード（複数フレームのデコード）が可能です

- Datamatrix は、以下のパラメーターに設定されます
 - Normal or Inverted（通常または反転）
 - Square or Rectangular Style（正方形または長方形スタイル）
 - Data length（データ長）（1～3600 文字）
- Maxicode
- 日本の郵便
- KIX Post
- Planet Code
- Postnet
- GS1 DataBar Stacked Omnidirectional
- GS1 DataBar Expanded Stacked
- Chinese Sensible Code

サポートされるインターフェイス USB Com Std.、USB Keyboard、USB（使用できるインターフェイスオプションについては[9 ページのインターフェイスの設定](#)を参照してください）

ユーザー環境

動作時	10 ~ 40 ° C
保管時	-30 ~ 65 ° C
湿度	動作時 20% ~ 85% 非動作時 5% ~ 90% 相対湿度、周囲が結露しないこと
耐落下仕様	0.3 メートルの高さからコンクリート面へ 18 回落下後、動作可能
外光耐性	最大 100,000 ルクス
汚染物/雨、ほこり/微粒子への耐性	IEC 529-IP32
ESD レベル	16 KV

規定

レーザー安全基準	IEC Class 2
波長	650 nm
ビーム分散度	± 8 °
パルス幅	持続波
最大電源出力	平均 1 mW

LED とビープ音によるインジケータ

スキャナーのビープ音およびLEDでは、スキャナーのさまざまな機能やエラーが表されます。また、オプションの緑色スポット光も有効な機能です。以下の表に、これらのインジケータの一覧を示します。表に示された動作に当てはまらない1つの例外として、スキャナーの機能がプログラム可能になっているという点があります。これにより、インジケータがオンになる場合もあれば、ならない場合もあります。たとえば、電源投入のビープ音のような特定のインジケータは、プログラミングバーコードラベルを使用することで無効にできる場合があります。

インジケータ	説明	LED	ビープ音
電源投入ビープ音	スキャナーは電源投入処理中です	なし	スキャナーは、電源投入時に最高の周波数と音量で4回ビープ音を鳴らします
正常読み取りのビープ音	ラベルがスキャナーに正しくスキャンされました	このインジケータのLEDの動作は、「Good Read:When to Indicate (正常読み取り：インジケータのタイミング)」(製品リファレンスガイドを参照してください)の機能によって設定できます	スキャナーでは、現在の周波数、音量、単音調または複音調設定、および長さで、1回ビープ音が鳴ります
ROMの障害	スキャナーのソフトウェアまたはプログラミングにエラーがあります	点滅	スキャナーでは、最大の音量で1回のエラービープ音が鳴ります
制限されたスキャンのラベル読み取り	ホスト接続が確立されていないことを示します	なし	スキャナーでは、最高の周波数および現在の音量で6回高く鳴ります。
スキャナーがアクティブモード	スキャナーがアクティブになっていてスキャン可能な状態にあります	LEDが徐々に点灯します ¹	なし
スキャナーが無効	スキャナーがホストによって無効に設定されています	LEDが継続的に点滅します	なし
緑色スポット光 ¹ が一瞬点滅します	ラベルの読み取りが成功すると、ソフトウェアによって設定値で指定された時間だけ緑色スポット光がオンになります	なし	なし
イメージキャプチャ	イメージのキャプチャ	イメージのキャプチャ時にランプが一度点滅し、より大きなイメージの転送中には複数回点滅します	なし


¹ スリープモードの状態、または[Good Read LED Duration] (読み取り完了のLEDの持続時間)が00以外の場合を除きます

プログラミングモード：以下のインジケータは、スキャナーがプログラミングモードになっている場合にのみ機能します。

インジケータ	説明	LED	ビープ音
ラベルのプログラミングモードでの入力	有効なプログラミングラベルがスキャンされました	LED が継続的に点滅します	低い周波数で 4 回ビープ音が鳴ります
ラベルのプログラミングモードでの拒否	ラベルが拒否されました	なし	スキャナーは、最低の周波数および現在の音量で 3 回鳴ります
スキャナー コンフィギュレーター モード	スキャナーは、サポートモードで設定変更の準備ができています	LED が徐々に点灯します	なし
ラベルのプログラミングモードでの部分的なラベルの受け入れ	1つの機能をプログラムするために複数のラベルをスキャンする必要がある場合、このインジケータによってラベルの個々の部分が正しくスキャンされたかどうかわかります	なし	スキャナーでは、最高の周波数と現在の音量で 1 回短いビープ音が鳴ります
ラベルのプログラミングモードでのプログラミングの受け入れ	設定オプションがラベルを介して正しくプログラムされ、スキャナーではプログラミングモードが終了されました	なし	スキャナーでは、高い周波数のビープ音が 1 回、低い周波数のビープ音が 4 回鳴ってから、リセットのビープ音が鳴ります
ラベルのプログラミングモードでのキャンセル項目の入力	キャンセルラベルがスキャンされました	なし	スキャナーは、低い周波数および現在の音量で 2 回鳴ります

エラーコード

スキャナーの起動時に長い音が鳴る場合は、スキャナーの自動セルフテストが正常に完了しなかったために FRU (Field Replaceable Unit) 分離モードが開始されたことを示します。スキャナーがリセットされると、一連の処理が繰り返されます。

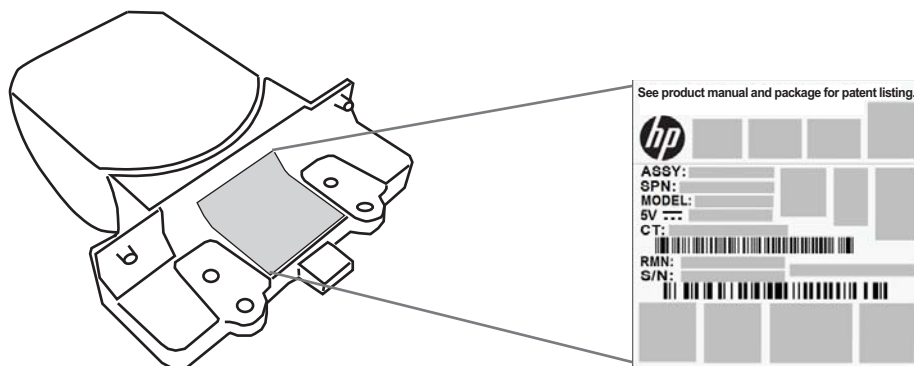
 **注記:** スキャナーをリセットするには、まっすぐ伸ばしたゼムクリップをリセット用の穴に差し込んで、しっかりと押し込みます。

以下の表に、検出されたエラーに関連する LED の点滅およびビープ音のコードを示します。

LED の点滅/ビープ音の回数	エラー	修正方法
1	構成	ヘルプデスクにお問い合わせください
2	インターフェイス PCB	ヘルプデスクにお問い合わせください
6	デジタル PCB	ヘルプデスクにお問い合わせください
11	イメージャー	ヘルプデスクにお問い合わせください

C 製品のラベル表示

表示したラベルのサンプルは、説明のみを目的としています。実際の詳細は異なる場合がありますので、製品のラベルを確認してください。



照準システム

内蔵スキャナーの照準システムは、レーザー安全基準の Class 2 要件を満たしています。レーザー情報は、下に示すように、照準システムのラベルに記載されています。

